

消せるボールペンは使用しないでください。

# 死亡届

令和2年1月9日届出

東京都千代田区長 殿

受理 第 号	令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日
送付 第 号	令和 年 月 日	長 印
査察調査	戸籍記載	記載調査
調査業	附 業	住民票
通 知		

(1) (よみかた)	みんじ いちろう	
(2) 氏 名	氏 名	氏 名
(3) 生 年 月 日	昭和 23 年 12 月 14 日	午前 午後
(4) 死亡したとき	令和 2 年 1 月 9 日	午前 午後 4 時 10 分
(5) 死亡したところ	東京都港区虎ノ門一丁目1 番地 番 1 号	
(6) 住 所	東京都千代田区霞が関一丁目1 番地 番 1 号	
(7) 本 籍	東京都千代田区丸の内一丁目1 番地 番	
(8) 死亡した人の	筆頭者の氏名 民事 一郎	
(9) 夫または妻	いる (満 70 歳) いない (□未婚 □死別 □離別)	
(10) 死亡したときの世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自営業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(11) 死亡した人の職業・産業	(因形調査の年… 年…の1月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 産業	
その他		
届 出	<input checked="" type="checkbox"/> 1.同居の親族 <input type="checkbox"/> 2.同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3.同居者 <input type="checkbox"/> 4.家主 <input type="checkbox"/> 5.地主 <input type="checkbox"/> 6.家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7.土地管理人 <input type="checkbox"/> 8.公設所の長 <input type="checkbox"/> 9.後見人 <input type="checkbox"/> 10.保佐人 <input type="checkbox"/> 11.補助人 <input type="checkbox"/> 12.任意後見人 <input type="checkbox"/> 13.任意後見受任者	
人 署 名	住所 東京都千代田区霞が関一丁目1 番地 番 1 号 本籍 東京都千代田区丸の内一丁目1 番地 番 筆頭者の氏名 民事 太郎 署名 民事 太郎 印 昭和51年 12 月 28日生	
事件簿番号		

### 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。死亡者の本籍地でない現場に出すときは、2通出してください(現場が相当と認めるときは、1通で足りることもあります)。2通の場合でも、死亡診断書は、原本1通と写し1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにするしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)にも用いられます。

## 死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死体統計作成の資料としても用いられます。転写で、できるだけ詳しく書いてください。

### 記入の注意

氏 名	民事 一郎	性別	男	生年月日	昭和 23 年 12 月 14 日	明記	昭和 23 年 12 月 14 日
死亡したとき	令和 2 年 1 月 9 日	性別	男	午後 4 時 10 分			
死亡したところ及びその種別	死亡したところ(住所) 診療所 介護老人保健施設 助産所 老人ホーム 自宅 その他 東京都港区虎ノ門一丁目1 番 1 号						
死亡の原因	死因の種別 〇〇〇病院						
死亡の種別	1 病状及び自然死 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火傷による傷害 6 その他 7 自殺 8 その他 9 不詳の死 10 他死 11 その他及び不詳の外国						
本籍地の届出事項	傷が発生したとき 令和 平成 昭和 年 月 日 午前 午後 時 分 傷害が発生したところ 東京都 市 区 町						
その他	出生時体重 グラム 年齢・多胎の別 1 単胎 2 多胎 (子中第 子) 妊娠週数 週 日						
届出事項	1 無 2 有 3 不詳						
その他	医師 法務 康						

生年月日は不詳の場合は、指定行動をカッコで付して書いてください。  
夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別養老老人ホーム、介護老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3 介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名前も併せて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷名等は、日本語で書いてください。1層では、各傷について発症の因(例:急死)、病因(例:病状(病名))、部位(例:腹部(肋骨がん))、種別(例:刺刺傷)等もできるだけ書いてください。

解剖中の死亡の場合は「解剖中」として、発症の死因の発症の因(例:急死)、病因(例:病状(病名))、部位(例:腹部(肋骨がん))、種別(例:刺刺傷)等も併せて書いてください。

1 傷及び2 傷に留意した予病に、発症の死因の発症の因(例:急死)、病因(例:病状(病名))、部位(例:腹部(肋骨がん))、種別(例:刺刺傷)等も併せて書いてください。

「2 交通事故」は、事故発生からの瞬間にかかわらず、その瞬間による死が原因とします。「5 煙、火災及び火傷による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1 住居」とは、生老、産等をいいます。老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどのような状態で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波検査等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等も併せて書いてください。

死亡診断書(死体検案書)の各欄は医師に記入してもらってください。

東京都港区白金台1丁目3 法務 康